

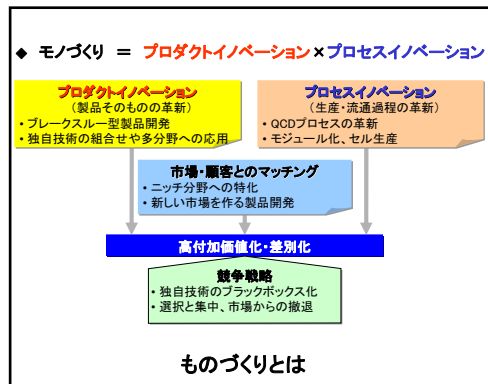
魅力ある商品づくりのための「創造的設計法講座」

－ マーケティング/QFD/TRIZ等の創造性開発手法など各スキルの実践活用 －

プロエンジニア
教育研究所

【講座の狙い】

プロフェッショナルの創造的設計法とは、お客様の洗剤ニーズを的確に把握し、魅力ある商品とするための価値を最大化することである。そのため、あらゆる制約条件体系的にブレークスルーするスキルを身につける。



対象

・企画／研究・開発／生産技術部門 技術者

ニーズ

- ・新研究テーマの探索
- ・新商品／技術の開発
- ・特許件数／質の向上
- ・体系的アイデア創出
- ・コストダウン
- ・慢性トラブル／工程改善
- ・プロセス改善
- ・戦略の質の向上 他

特色

- ・お客様のニーズからまず考えることを推奨
- ・世界最強の創造性開発手法を短期間で習得

2日間コースプログラム

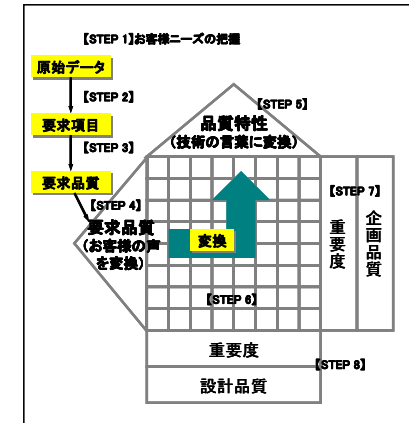
【2日間コース 1日目 カリキュラム例】

- ものづくりとマーケティング
 - ものづくりの意味
 - トヨタの思考習慣とは？
 - マーケティングはお客様満足が基本
 - ユニバーサルデザインの鉄則
 - どのような商品創りをめざすべきか
- 顧客要望と技術開発のすり合わせ
 - QFD(品質機能展開)とは
 - QFDの目的
 - QFDの作成手順
 - QFDの適用事例
- 思考法の基本スキル
 - 目的展開
 - なぜなぜ展開
 - IS/IS NOT思考
- よい特許を出すために
 - 特許の質向上
 - よい特許明細書を書くために

【2日間コース 2日目 カリキュラム例】

- 創造性開発手法
 - 創造性開発手法とは
 - 創造性を具現化する要因と因子
 - オズボーンのチェックリスト
 - NM法
 - TRIZの体系と考え方
 - 9画面法
 - 矛盾と40の発明原理
 - Effects(知識ベース:逆引辞書)
 - 技術進化トレンド
 - 究極の理想解、セルフ-X、リソース
- 機能・属性分析
 - 機能・属性分析の目的
 - 機能・属性分析の考え方と構成
 - 機能モデルの作成法
 - トリミングへの活用

学習内容の例示



QFD作成手順

	思考法分類		特徴
	発散技法	収束技法	
基本ツール	ブレインストーミング	○	批判厳禁、自由奔放、量を求む、組合せ・改善のルールに従って実行するシンプルな技法。
	マトリクス法(9画面法、QFD)	○	2つの要素からなる2次元の交点を評価し、そこから改善点などを発見する。TRIZの9画面法はこれに相当。QFDも応用事例。
	KJ法(Kawakida Jiro)	○	現象に起きている事象から新しい解決を生み出すシンプルな技法。トラブルに情報を集め、その関連性を整理しグループ化しこれを繰り返す。最後に全体の関連性を描き文章化する。
	オズボーンのチェックリスト	○	他へ転用したら？、アイデアを借りたら？、変更したら？、拡大したら？、縮小したら？、代用したら？、入れ替えたら？、反対にしたら？、結合したら？の9つのチェックリストに依り発想する技法のこと。
体系的ツール	NM法(Nakayama Masakazu)	○	直観力を活用した異質結合を誰でも行えるように、いくつかのステップで考える技法のこと。主なステップは、①テーマを抽象化し展開、形変換などで表す。②展開する。③観察する。④観察内容をヒントに発想する。⑤数多く出したヒントの中からアイデアとして発想する。テーマを単純化・明確化した後、自然界のものごとをヒントに発想を体系的に発想させる。
	ブレークスルー法	○	目的の目的を展開し、手段の手段を広げ、それを展開する代替手段を推測していく。目的展開は、さまざまな制約条件や思考の制約条件を打ち破るのに役立つ。
	ワークデザイン法	○	IE、問題解決技法の一つ。目的を再定義するところから始め、再定義した目的を果たす新たな仕組みを構築することによって、問題の解決を促していく(演習的発想法)。
	TRIZ	○	ARIZ、40の発明原理、などの方法論と特許などのデータベースからなる体系的発想法。なお、矛盾をつづめていくことも含めると、収束技法ともなっている。

なぜなぜ展開

目的展開

創造性開発手法の種類